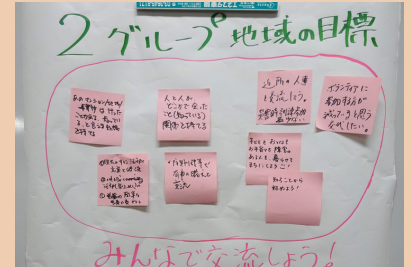


# 第3回深川北部 報告書

# まちづくり 話し合い ひろば

参加者 13名

2023. 9. 27  
千石地区集会所  
13:30~15:30



「まちづくり話し合いひろば」では、日頃から感じている地域の福祉課題や強みを念頭においていただきながら、「福祉のまちづくり」のアイデアを出し合います。そのアイデアを第5次地域福祉活動計画の中に盛り込むことで、実際の活動へとつなげ、広げていくための機会とします。

## あつまる！ つながる！ やってみる！



### 地域の活動目標 主な意見

- ・笑顔であいさつできる地域にしよう
- ・防災時「共助」できる地域、相互の地域が協力しあえるようにしよう
- ・障害者と健常者のへだたりをなくそう
- ・子ども・高齢者の方・障害者の方、交流することでお互いを知ろう
- ・世代を超えてコミュニケーションができる地域にしよう
- ・近所の人達と交流、知ることから始めよう
- ・地域コミュニティ活動（祭りなど）に参加しよう
- ・身近に困っている人がいたら助け合おう
- ・ボランティア意識が高い地域にしよう
- ・誰でも暮らしやすくしよう
- ・ボランティアに参加しよう

## 社協に期待すること 主な意見

- ・ 行政との間に入って区民に寄り添って欲しい
- ・ 社協がどんな事業をしているか情報発信して欲しい
- ・ 社協会員を増やして、活発な社協になって欲しい
- ・ 若い世代・働きざかりの世帯へのサポート（交流会）
- ・ 社協からの財政面での援助や、物資や金銭を提供してくれる企業につないでほしい
- ・ 誰かとつながりたいと思っている人がとりあえず一歩踏み出せるような企画
- ・ 社協活動レポートを発行し、存在価値をPRしてほしい（区民が関心を持つ）
- ・ 区内には高層マンションがあり、避難先として社協が間に入るなどつなぎ役に期待
- ・ 空き家の借り上げや、保証人になって住居支援して欲しい
- ・ 活動場所や普及啓発できるところなど、地域資源を教えて欲しい
- ・ いろんな世代、いろんな人達が集まって話せる場所や機会を作ってほしい



- ・ 交流の場と企画の提供
- ・ コネクトの役割をしていただきたい
- ・ 区内企業との社会貢献、施策の企画

地域福祉活動計画策定委員 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 岡田哲郎 講師



「ゆんたく」はご存知ですか？沖縄で「おしゃべり」という意味がある。最初の皆さんがやってきたかしまったおしゃべりではなく、後半の打ち解けた感じのおしゃべりを言う。民宿で「ゆんたく」と言うと、知らない宿泊者同士が食卓を囲んで、食べて、お酒も飲んで、気がつけば知らないうちに人が好きになっている、近づきたくなっていく、そして自然につながりができていくというもの。

計3回このまちづくり話し合いひろばの場をやってきた。考えてみると「ゆんたく」の場を作った取り組みでもあったのかなと思う。地域で人と人が出会うこと、ガードを下げて付き合うということができない世の中だが、それを作ってきた。いわば共同の作法・工夫を導き出そうとしている。それも昔のやり方を押し付けるのではなく、今の新しい時代に合わせてみんなで作っていくんだという出発点をここで持ったのかなという風にも思う。

3回の「まちづくり話し合いひろば」では、「地域のいいところ」「地域の困りごと」「6年後こうなったらいいな。地域の目指す姿」「自分・地域・団体でできること」「この地域の活動目標」「社協に期待すること」など、地域福祉活動計画策定に向けて、皆様からのご意見を頂きました。ありがとうございました。この『まちづくり話し合いひろば』は、策定だけでなく、それぞれの地域のゆるやかなプラットフォームとなるように、地域の方の手により、まちづくり、地域づくりが推進されるよう社協が継続して開催していきます。  
(総務課総務担当 井上)